

敬天千里眼情報

知性も理性も感じられない地方議員の体たらく 水戸市議会議員・松本勝久先生のご都合主義⑥

25日、自民党系会派の親分である松本勝久市議（以降、松カツ親分と呼ぶ）が、議長ポストを明け渡さない田口文明議長に対して、嫌がらせの動議を発して混乱していた水戸市議会の定例会が閉会した。

この日も、自民党の議員から田口議長に対する不信任の動議が提案され、自民党会派などの賛成多数で可決された。

不信任の動議には強制力はなく、可決後、NHKからインタビューを求められた田口議長は「動議が可決されたことは、私の不徳の致すところだ」とする一方で「議会を混乱させたつもりはなく不信任にあたる理由が思い当たらない」として議長職にとどまる考えを表明した。

取り敢えず補正予算案などは可決されたものの、市議会は最後まで混乱が続いたとNHKのニュース番組でも報じられ、恥をさらした水戸市議会。

田口議長が「不信任にあたる理由が思い当たらない」と言っている通り、任期の途中で辞めるなら辞めるなりの理由がなければ、辞める者も市民も納得が出来ないのは当然だ。

辞めろと言っている議員は、何を理由に辞めろと言っているのか？

議会に混乱を招いたことが理由なら、その混乱を招いた理由は何なのか？解りやすく市民に説明するべきだ。

それが、議長ポストを任期途中で誰かに譲るだの譲らないだのという話であったなら、とんでもない話である。誰かの地位や名声のアイテムとして、売り買いされたのでは堪らない。

そういえば、松カツ親分は役所の人事にも口を出すそうで、職員は恐れをなして言い成りになっているそうだ。逆に松カツ親分に頼んで昇進したりする者もいるという。もちろんタダでという事はないだろう。

言うことをきかない職員や議員がいれば議会を捲き込み、嫌がらせの質疑や動議を繰り返す行う。

そんな恫喝を長年繰り返してきた結果が、農地転用も自由自在、役所の人事も自由自在、議会運営も自由自在、ということか？

この国の政権を委ねられている自民党の会派が、地方議員といえども、こんな騒動の中心となっているとは恥ずかしい限りである。つづく。

敬天千里眼情報は、世の中に蔓延る巨悪を糾弾する
敬天新聞のFAX版です。

<http://www.keiten.net>